

M<sup>Cello</sup> ARIIO BRUNELLO × K<sup>Piano</sup> ATHRYN STOTT

# マリオ・ブルネロ & キャサリン・ストット デュオ・リサイタル



期待の初共演  
音楽の大冒険家マリオ・ブルネロと  
対話上手な音の开拓者 キャサリン・ストットが  
紀尾井ホールで出会う 刺激的な午後

## DUO RECITAL

シューベルト アルペジオーネ・ソナタ イ短調 D821 *Schubert: Arpeggione Sonata in A minor, D821*

マーラー 亡き子をしのぶ歌 *Mahler: Kindertotenlieder*

イザイ 無伴奏チェロ・ソナタ ハ短調 Op.28 [マリオ・ブルネロ チェロ独奏] *Ysaÿ: Cello Sonata in C minor, Op. 28*

ペルト フラトレス *Pärt: Fratres*

ストラヴィンスキー イタリア組曲 *Stravinsky: Suite Italienne*

2016年

11月23日[水・祝] 14時開演(13時30分開場)

 紀尾井ホール

料金[全席指定]▷S席 8,000円 | A席 5,000円 | 学生A席 2,000円 | ベアS席 15,000円 | 紀尾井友の会ベアS席 14,000円

発売日

友の会先行発売: 2016年7月6日[水]

一般発売: 2016年7月9日[土]

チケットの  
取扱い

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061 (10時~18時/日・祝休)

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> (Pコード: 301-181)

イープラス <http://eplus.jp>

ローソンチケット 0570-000-407 <http://l-tike.com> (Lコード: 32456)

\*乳幼児等未就学のお客様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。 \*出演者、曲目は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

[主催] 公益財団法人 新日鉄住金文化財団

[後援] イタリア文化会館 



マリオ・ブルネロは、音楽をいつも大冒険のように続けてきた。それが彼にとっての自然であり、山の天気であるのだろう。飽くことなく、登山のように、ときには遠泳のように。

紀尾井ホールでも、次々と未知の光景を勇敢に、そしてわがままに拓いてみせた。自由ということの意味と、厳しさと、容赦のない果てしなさを、聴き手にも突きつけながら。

だからこそ、マリオ・ブルネロの場合、誰と旅するのか、登るのがかことさら大事になってくる。もちろん、どこを、というのも。もう驚かないはず、という貪欲な聴き手を、毎回意外なかたちで裏切りながら、いつも変わらぬ彼らしい自然体でもあり、気まぐれに即興的な遊びにもみちている。

この秋は、キャサリン・ストットとの出会いだ。初めての共演がここ日本でもたれることになる。フランスや現代の音楽など幅広く手がけるソロや、同じロンドンを拠点とする小川典子との鮮烈なピアノ・デュオもそうだが、新作への取り組みも含めて、やはり冒険的な姿勢を高く保ってきたピアニストである。

室内楽も得意とする名対話者キャサリン・ストットは、とりわけヨー・ヨー・マのデュオ・パートナーとして広く知られ、もう30年以上も共演を重ねているが、チェリストではトルス・モルクやクリスティアン・ポルテラとの録音もある。イザベル・ファン・クーレンやジャニーヌ・ヤンセンをはじめ、弦の名手からの信望が篤い。

冒険好きの男女だけに、幅広い世界を旅するにはもってこいの同志なのだろう。ふたりは最初の共演から、ふさわしく野心的だ。マーラーの歌曲「亡き子をしのぶ歌」の編曲版、ベルト自編の「フラトレス」、ストラヴィンスキーがピアティゴルスキーと編曲した「イタリア組曲」と、多彩なレパートリーに臨んでいく。シューベルトの「アルペジオーネ・ソナタ」も別の楽器の想像力からやってきている。ヴァイオリンの偉才イザイの、無伴奏ソナタをブルネロが弾くのも興味深い挑戦だ。

トランスフォームの拡がりも楽しみな、しかしマリオ・ブルネロのチェロだからこそその世界が、キャサリン・ストットのピアノと新たな刺激を交わしつつ、確固としてまた流動的に響き出すことだろう。



## マリオ・ブルネロ | チェロ

Mario Brunello, Cello

1986年にチャイコフスキー国際コンクール優勝。以来テミルカーノフ、アバド、シャイー、ムーティ、ユロフスキ、ガッティ、コープマン、小澤征爾らの指揮のもと、ロンドン・フィル、ロイヤル・フィル、フィラデルフィア管、ロンドン響、ベルリン・ドイツ響、マーラー・チェンバー・オーケストラ、フランス国立管、N響、紀尾井シンフォニエッタ東京など代表的なオーケストラと共演している。とりわけアバドとの関係は長年にわたり、ルツェルン祝祭管やモーツァルト管には首席メンバーとして度々招かれた。最近のハイライトとしては、パッパーノ指揮サンタ・チェチーリア

管との共演、クレメラータ・バルティカとのツアー、ゲルギエフ指揮マリインスキー劇場管とのサンクトペテルブルクでの共演などが挙げられる。

これらのオーケストラとは弾き振りも多い。1994年にはオーケストラ・ダルキ・イタリアーナを創設し、イタリア国内外のツアーを行っている。

室内楽にも熱心で、クレメル、アルグリッチ、E.P.ツィンマーマン、バシュメット、ポリーニ、ルケシーニ、アルバン・ベルク四重奏団などと共演。

録音も多く、J.S.バッハの無伴奏チェロ組曲、プーラムス、ベートーヴェン、ショパンのチェロ・ソナタ、また無伴奏チェロのための現代作品も録音している。グラモフォンに録音したアバド指揮によるベートーヴェンの三重奏曲や、オデュッセウスの冒険を描いた「オデュシア」などをはじめとするEGEAレーベルでのシリーズは特筆される。最新録音はパッパーノ指揮サンタ・チェチーリア管弦楽団と共演したドヴォルザークのチェロ協奏曲(ライブ盤)。

使用楽器は1600年代に製作された「マジジーニ」。



## キャサリン・ストット | ピアノ

Kathryn Stott, Piano

英国のランカシャー生まれ。メニューイン音楽院でペルルミュテールやブーランジェに学び、その後英国王立音楽院を卒業。リーズ国際コンクールに入賞して国際的な活躍を始め、ラトル、グローヴズらの指揮のもと世界各国のオーケストラと共演している。室内楽奏者として、コリンズ、モルク、ヤンセン、小川典子と共演を続け、ヨーヨー・マとは特に数多く、去年はデュオ・パートナーとなって30年を記

念する年となった。

現代音楽の作曲家たちが彼女にこぞって曲を提供し、ナイマン、マックスウェル・デイヴィス、シェンフィールドらの作品を初演。小川典子と初演したフィットキンの「2つのピアノのためのサーキット」は日本でも度々演奏され、最近ではコンサートへボウがこの作曲家に委嘱した新作ピアノ三重奏曲の初演も行っている。

フォーレ、ドビュッシー、ラヴェルなどのフランス音楽や、ファウルズ、レクオーナ、上記の現代作曲家の作品、またカバレフスキーのピアノ協奏曲、ディーリアスの作品集など、幅広く録音している。

1995年にはフランス政府から、芸術文化勲章シュヴァリエを受章。

## 紀尾井サポートシステム会員(五十音順・「株式会社」等表記及び敬称略)

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です 計100社(2016年6月1日現在)

- 【特別協賛会員】 A.ランゲ&ゾーネ(リシュモン ジャパン)/新日鉄住金ソリューションズ/三菱商事
- 【みやび会員】 大島造船所/菅原/住友商事/三井物産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほかに匿名2社
- 【ひびき会員】 岡村製作所/竹中工務店/日本ハム/山下設計
- 【みどり会員】 青鬼運送/赤坂維新號/赤坂 エクセルホテル東急/今治造船/ヴォートル/エケーディ/NSシンフォニー・オーケストラ/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/スタインウェイ・ジャパン/西武プロパティーズ/セレモアホールディングス/第一企業/高砂熱学工業/千代田商事/テイスト・ライフ/東京都民銀行/東芝エルティーエンジニアリング/永田音響設計/ニュー・オータニ/日活アド・エイジェンシー/ハウス食品グループ本社/パナソニック/福田家/富士ゼロックス/松尾楽器商会/みずほ証券/三井住友信託銀行/三井不動産/三菱電機ビルテクノサービス/三菱東京UFJ銀行/明治座舞台/ヤマハサウンドシステム/有帆
- 【あおい会員】 青木陽介/磯部治生/河村由貴江/小林志行/近藤貴子/佐久間庸行/佐伯いづ子/志立正嗣/嶋 延修/清水多美子/清水康子/鈴木 亮/高下謙彦/高橋義徳/外山雄三/中島 博/中西達郎/西村勉美/馬場宏一/馬場弘之/早川祥子/原田清朗/北條哲也/松本武巳/松本美恵/陸田 実/村上喜代次/村田正仁/持留宗一郎/山下公身子 ほかに匿名26名



【最寄駅】 ●四ツ谷駅 麹町口(JR線・丸の内線・南北線)徒歩6分 ●麹町駅 2番出口(有楽町線)徒歩8分 ●赤坂見附駅 D出口(銀座線・丸の内線)徒歩8分 ●永田町駅 7番出口(半蔵門線・有楽町線)徒歩8分

【主催】公益財団法人 新日鉄住金文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 紀尾井ホール内 TEL. 03-5276-4500(代表) ホームページアドレス http://www.kioi-hall.or.jp